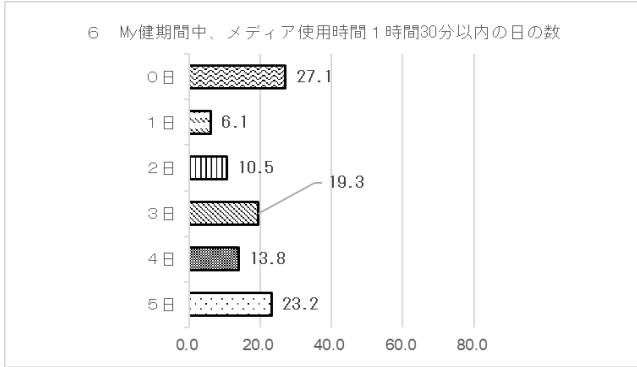
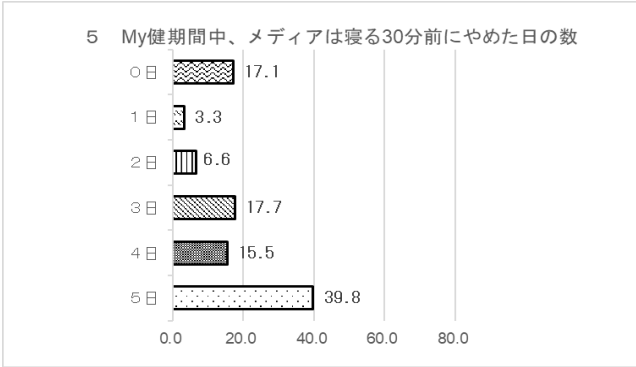
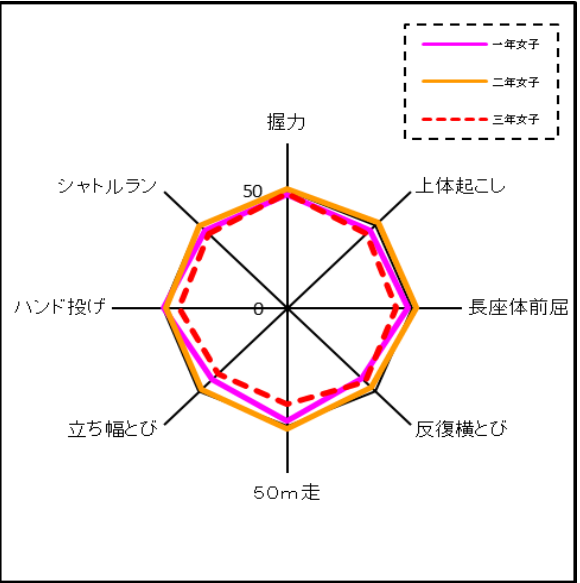
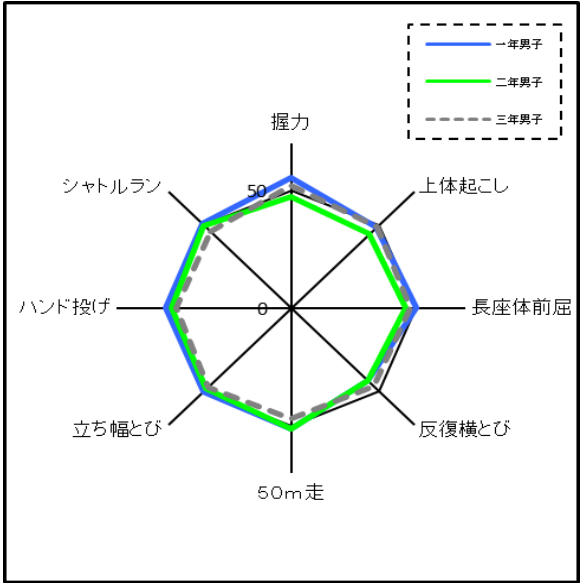




② 体力テスト



5月から7月上旬に8つの項目でテストを実施しました。どの学年も、大きく低下した項目はありませんでした。2, 3年生は、前年度との比較で、全ての項目で前年度を上回りました。

③ 今後の取組・改善点

- ア 生活習慣については個人差があるものの、概ね早寝早起きができています。しかし、メディア利用については目標値を大きく下回り大きな課題となっています。第2回以降の「My健」や保健体育の授業、健康教育の実施を通して、メディアの適切に利用することの重要性を理解して、心身の健やかな成長を支えます。
- イ 5月に新型コロナウイルスの感染症法の分類が5類に移行されました。しかし、断続的な感染があり、注意が必要です。引き続き基本的な感染対策を継続して生活するよう指導します。
- ウ 今年の夏は、7月下旬からほぼ1ヶ月間の猛暑でした。感染症予防を意識した生活と熱中症対策を両立することの難しさがありました。学校では、連日、体育館やグラウンドで暑さ指数(WBGT)湿球黒球温度を計測し、暑さ指数が危険な値になるときは、すぐに運動を止めるよう指示しました。今後もこの指示を継続し、生徒の安全を守ります。

4 【地域】主体的に地域に貢献する活動を通して育むふるさとを愛する心の定着

(1) 教育活動



令和5年度前期

学校評価だより

令和5年9月12日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987 F A X 0256-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage www.mitsuke-ngt.ed.jp/~minami/

約3年間に及んだ新型コロナウイルス感染症の対応が変わり、教育活動を「再構築」することになりました。学校の現状を多角的かつ適切に分析して、総合的に判断し、精選し、実施したいと考えております。生徒一人一人の自己肯定感が向上し、学校生活が充実して活力のあるものになるよう、生徒や保護者の皆様のアンケート結果から、4月から8月の成果と課題をまとめました。対策を立てて推進するとともに、皆様の御理解と御支援を賜り、学校生活の充実と心身の健全な成長につなげて参ります。

評価は、目標値に対して、A:「達成」、B:「おおむね達成」、C:「課題がある」としています。

1 【知】自りつ（立・律）のために必要な基礎的・汎用的能力の定着

(1) 教育活動

<授業改善、職員研修>



<教え合い、学び合いの推進>



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

① 「学校の学習内容が分かる・できる」と答えた生徒が90%以上	90.7%	A
② 「学校の学習内容が生活の役に立つ、生活が豊かになる」と答えた生徒が90%以上	87.0%	B
③ 定期テスト前2週間の家庭学習を、1年生70分間以上、2年生が80分間以上、3年生が90分間以上する生徒が90%以上	1年生73.0% 2年生81.0% 3年生94.8%	B
④ 全校基礎テストの合格率が80%以上	78.4%	B
⑤ 「道徳や未来学習を通して、自分の生き方について考えをもったり、深めたりすることができた生徒」が85%以上	89.0%	A

(5) 成果と課題

① 標準学力調査(CRT)(4月実施)

この学力調査は、全国値の正答率を50としたときの換算値で受験した学校の正答率を全国値と比較します。全国値に達しなかった学年の教科は、6月末までに教科部会で協議し、課題を明らかにしました。

教科	学力調査の結果	課題
国語	各学年の正答率が、全国平均正答率とほぼ同程度でした。	漢字を読むこと、聞くこと、条件を満たして作文で解答することに課題があります。
社会	2, 3年生の正答率が、全国値を上回りました。	重要語句、都道府県名と県庁所在地名、日本の各地方の地理的特色に課題があります。
数学	3年生の正答率が、全国値を上回りました。	グラフの読み取り、計算、空間図形、1次関数、方程式の立式に課題があります。
理科	各学年の正答率は、全国平均正答率をやや下回りました。	エネルギーや地球の領域、実験の目的に合う条件の設定と制御に課題があります。
英語	3年生の正答率が、全国値を上回りました。1, 2年生は、ほぼ同程度でした。	会話文や長文を読み理解すること、場面に応じて英文を書くことに課題があります。

- ② 全国学力・学習状況調査の結果（3年生4月実施）
国語、数学、英語が実施されました。英語は、聞くこと・読むこと・書くことと話すことを分けて、2日間にわたって調査が実施されました。

教科	学力調査の結果	課題
国語	全国平均正答率を上回りました。	漢字、自分の考えを書くこと、古典の原文と現代語の文の対比、選択式の問題に課題があります。
数学	全国平均正答率を上回りました。	グラフの解釈、式の意味や事象を読み取り問題解決の方法を説明したり証明したりすることに課題があります。
英語	全国平均正答率を上回りました。	情報を正確に聞き取ること、学習した英文を活用して会話すること、自分の考えや理由を話すことに課題があります

※①、②の学力調査でよくできた問題や課題に対する対策は、学校だより10月号に掲載します。

- ③ 今後の取組・改善点

- ア 生徒が「分かる」「できる」と答えているが、学力調査やテスト等での結果と乖離している現状についてさらに分析し、対策を決めて推進します。
- イ アの分析を受けて、「生活の役に立つ」「生活が豊かになる」ことを実感できる授業改善に全校体制で取り組みます。
- ウ 学習の定着のため、「学年×10分間以上」の家庭学習を毎日することを指導します。ICT機器を活用し週末課題を出すなどして、家庭学習への取組を促します。

2 【徳】 自他共に落ち着いて教育活動に取り組むための行動特性の定着			
(1) 教育活動			
＜生徒の集い＞ ＜クラスマッチ＞ ＜人権教育講演会＞ ＜中越地区大会激励会＞			
			
(2) 成果目標		(3) 肯定的割合	(4) 評価
① 「自分にはよいところがある」と答えた生徒が80%以上		73.1%	B
② 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない態度で学校生活を送った」と答えた生徒が95%以上		97.2%	A

見附市小中学校 共通アンケート	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	91.4%
	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか。	72.6%
	協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか	91.9%
南中アンケート	行事の際に目標を意識して行動することができた。	93.4%

- (5) 成果と課題

- ① 成果として、次のことが挙げられます。

- ア 他を大切にしようとする意識が高い。
- イ 他のために役立ちたいという意識が高い。
- ウ 目標を設定し、達成に向けて努力ができる。

南中生は、多くの教育活動で、素直で真剣に取り組む姿勢や他の生徒の気持ちを考えながら一生懸命に活動することができます。

- ② 課題として、次のことが挙げられます。

- ア 自己肯定感が低く、自信がない傾向がある。

この課題を克服できるよう、「キャリア・パスポート」を活用し、スモールステップで目標を設定するようにしました。実施後は、活動の振り返りを行い、上手くできたことと課題を整理して、次の目標を設定するというサイクルをもたせるよう努めました。

また、ライフスキル教育プログラムを導入し、生徒の自尊感情を高めることを目指して、月に一回程度の活動を行いました。

- ③ 今後の取組・改善点

家族や地域の方、ゲスト・ティーチャーや来校者の方などからの評価を受けたりすることで、少しずつ生徒は自分に自信をもち始めると考えます。

ア 教師からの形成的評価（生徒たちを注意深く観察したり、質問したりして、活動の成立状態を確認、把握すること）を積極的に行います。自分の価値観や興味・関心、考え方や行動の仕方といった特徴をよく表す生き方を実現できるよう、結果よりも過程に注目して指導します。

イ 「キャリア教育」を推進します。1年生職場見学、2年生職場体験学習、3年生上級学校訪問などの教育活動を通して、自分の将来を考え、目標をもち、様々な困難に挑戦できる南中生を目指します。「キャリア・パスポート」に自分の目標や気持ちを記録し、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成を通して、自分らしい生き方の実現を促す教育活動を実施します。

ウ 毎週の道徳の授業に、ライフスキル（意志決定、問題解決、創造的思考、批判的思考、効果的コミュニケーション、対人関係スキル、自己意識、共感性、情動への対処、ストレスへの対処）教育の理念を含め、よりよい生き方を考え実践することを通して、自尊感情を高めます。

3 【体】 自他の心身の健康維持と体力向上を持続させる意識の定着

- (1) 教育活動

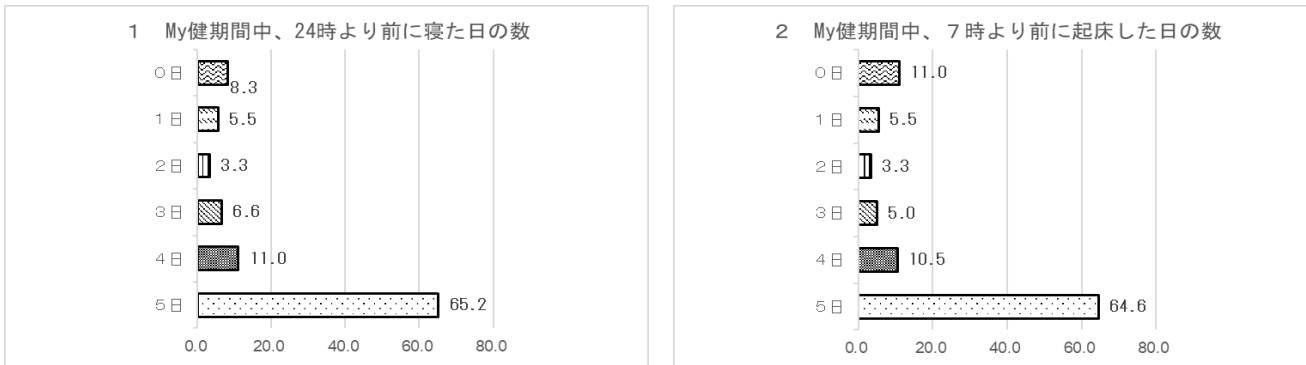


(2) 成果目標		(3) 肯定的割合	(4) 評価
① 「My 健」期間中、24 時前に就寝した生徒が 85%以上		65.2%	B
② 「My 健」期間中、7 時前に起床した生徒が 80%以上		64.6%	B
③ 「My 健」期間中、学習以外の通信機器等、メディアの利用時間 90 分間以内達成が 70%以上		23.2%	C
④ 熱中症予防や感染症予防、う歯予防など、健康管理を意識して生活することができた生徒が 80%以上		94.0%	A
⑤ 体力テストの結果を受け、自分の課題を意識して体育、部活動、日常生活での運動に取り組み、体力向上を目指した生徒が 80%以上		85.0%	A

- (5) 成果と課題

- ① 第1回「My 健」

生活習慣については個人差があるものの、概ね寝早起きができているようです。しかし、メディア利用については目標値を大きく下回り大きな課題となっています。



(2) 成果目標	(3) 肯定的割合	(4) 評価
① 地域の歴史や成り立ち、行事等について調べたり、各種の行事や貢献活動等に積極的に参加したりすることができたとする生徒が80%以上	76.0%	B
② 地域調べを通して地域の特性や危険箇所気付いたり、防災について考えたりすることができたとする生徒が80%以上	89.0%	A
③ 学校は、地域の情報を積極的に得たり、地域との関わりを大切にしたりしていると思う生徒が80%以上	76.1%	B

(5) 成果と課題

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けの変更に伴い、生徒が地域で主体的に活動するよう教育活動を進めました。6月の地域防災訓練や7月の見附民踊流しに、多くの生徒が参加しました。
- ② 9月の地域貢献活動に向けて、4月から分団集会（町内単位で組織する会）を3回実施しました。各町内の区長様の御助言や御提案をいただき、生徒が協議して活動を計画しました。地域貢献活動は、9月27日（水）に実施する予定です。生徒が主体的に活動をする姿を多くの方から見守っていただくとともに、お声かけくださいますようお願いいたします。
- ③ 今後の取組・改善点
 - ア 約3年間に及んだ校外活動の制限や縮小がなくなりました。このことをチャンスと捉えて、地域と教育活動の協働を再構築したいと考えております。地域貢献活動が、校区の皆様にとって役立ち、生徒が充実感や達成感をもつことができるようにします。
 - イ 地域のニーズを把握するため、年度内に来年度の地域行事やコミュニティの活動予定を調査します。地域のニーズを把握し、中学生が活動したり、地域の方から学校の教育活動に関わっていただいたりする機会を増やしたいと考えております。御協力と御支援をお願いします。

令和5年度前期学校保護者アンケートの御意見について

前期学校保護者アンケートに御回答くださり、ありがとうございました。お寄せいただいた中から、代表的な御質問や御意見にお答えいたします。

今後も、皆様からいただいた評価を受けて、教育活動の改善と充実に取り組みます。

質問・意見・要望	回答
○ 学校からの連絡や提出する文書が滞り、迷惑をかけたことがあった。できれば、締切があったり重要だったりする文書や連絡は、メールで伝えてもらいたい。	御提案くださり、ありがとうございました。メールでの連絡は、複数の方から御提案や御要望をいただきました。今年度から、メール配信ソフトウェア tetoru が導入されました。現在、各家庭の登録は、100%です。導入後は、欠席連絡をメールでいただくことが増え、朝の電話対応も少なくなり、教職員が授業の準備等に専念できるようになりました。
○ 文書が多く、大切なことを把握しにくい。メールでの配信に変更するなどすれば、先生の負担も減り、ペーパーレスでゴミも削減できます。	本校では、全校生徒を対象とする連絡は、メールと文書の両方で確実に伝えるよう努めております。学校から出す全ての文書をメールでお知らせすることはとても難しいですが、今後もメールを積極的に活用し、皆様がいいつでもどこからでも確認できるよう対応します。
○ メール配信で保護者との連絡ツールがもう少し充実すると、学校の電話対応の時間削減になり、先生方の時間外労働が少しでもなくなるとよいと思っております。	
○ 特別支援学級の生徒が安心して高校を受検することができるように、その子にあった試験のやり方を積極的に伝え、どの高校でもそれが当たり前になるように教育	成績に関わるテストの目的及び正当性・信頼性・公平性・妥当性の観点から、定期テストや教科で実施する基礎テスト・小テストなどの実施期日や方法などを変更しました。このことは、8月23日（水）にメール

活動をしてほしい。	及び文書でお知らせしました。 本校では、特別支援学級の生徒と保護者に、年度初に定期テスト等の受験について伺っております。しかし、年度途中で希望が変わることもあろうかと思っておりますので、今後は定期テストの前に受験する教科や場所などをその都度確認させていただきたいと考えております。
○ 2年生は、学習レベルが全体的に他の学校より低く感じます。難しいとは思いますが、全教科で別時間をとったり、宿題などで学習レベルをもう少し向上させていただきたい。 ○ 家庭学習の習慣がつくように毎日声がけをしています。なかなか習慣が付かず、テスト前にあせってワークをしています。学校でも、家庭学習が習慣になるような指導をお願いします。	御家庭での学習にお力添えをいただき、ありがとうございます。宿題や家庭学習の指導について、まだまだ改善の余地が多くあると考えております。次のことを協議し、段階的に導入して、学力向上や「学年10分間以上」の家庭学習の充実に取り組みたいと考えております。 ・ 家庭学習時間の記録 定期テスト前の2週間は、家庭学習時間を各自のChromebookで記録して提出することにしております。この取組を拡大して、定期テスト前だけでなく、毎月1回1週間程度の「家庭学習強調期間」を設けて調査し、教育相談等で生徒に個別に支援します。 ・ Chromebookの活用 Chromebookで提出締切時刻を設定した課題を出すなどして、宿題や学習課題に取り組む必然性を重視して指導します。
○ 給食時間が短い。「よく噛んで食べましょう」と言うわりに、よく噛んで食べる時間がない。	給食の時間は30分間です。給食センターの配送車の到着時刻等の事情もあり、延ばすことが難しいです。4限の授業の終了時刻を守るとともに、速やかに準備し、配膳を終えるよう指導して、喫食の時間を少しでも長くするよう努めます。
○ 教育活動をタイムリーに伝えるために、ホームページを刷新してほしい。今のホームページは意味をなしていないと思う。検討していただきたい。	11月に市のホームページが新しくなります。それに伴い、学校のホームページも変更されます。今後は、市の予定に合わせて、作成の研修を受けたりデータを移行したりして作業を進めます。御覧いただく方々にとって知りたいことが分かるような構成になるよう努めます。
○ 地域と連携した総合学習をもっと取り入れてほしい。	今年度は、9月に地域貢献活動、10月に1年生職場見学、2年生職場体験学習、3年生上級学校訪問を実施します。 来年度は、総合的な学習の時間にアントレプレナーシップ教育を導入する予定です。現実の社会で経済活動と強く結び付き、起業している事例に学ぶことを通して、これまで地域の課題として認識されたことや、必然性を感じられず受け身で取り組んだ活動を、ビジネスとして利益を生み出したり、自己有用感をもったりすることができる契機であると考えることにより、内発的動機をもたせ、主体的に学習する姿勢を育てることに取り組みます。